

児童が自身の経験などを関連付け、思いや考えを基に想像する姿を目指すために、
思考が連続する場面の設定を図る学習

日時 令和3年12月14日（火）5校時 実施
児童 美瑛町立美瑛東小学校1年1組 11名
指導者 石塚大輔

- 1 単元名 ばめんのようすをくらべてよもう
「スイミー」
『おはなしどうぶつえん』をつくって、本をしょうかいしよう
(教育出版 1年)

2 単元について

(1) 教材観

本単元に関わる学習指導要領の目標および内容（抜粋）は、次のとおりである。

【学習指導要領】～第1学年及び第2学年（国語科）の目標と内容～

1 目標

- (1) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 [知識及び技能]
(2) 順序立てて考える力を感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。 [思考力、判断力、表現力等]
(3) 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。 「学びに向かう力、人間性等」

2 内容

〔知識及び技能〕

(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項

○言葉の働き

ア 言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。

(3) 我が国の言語文化に関する事項

○読書

エ 読書に親しみ、いろいろな本があることを知ること。

〔思考力、判断力、表現力等〕

C 読むこと

○構造と内容の把握（文学的な文章）

イ 場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。

○精査・解釈（文学的な文章）

エ 場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。

「読むこと」における前教材「うみへのながいたび」では、場面の様子や登場人物の行動を表す言葉に注目し、登場人物の行動やその理由を想像する学習に取り組んだ。本教材「スイミー」では、刻々と変化する場面の様子に着目し、作品の始めと終わりを比べ、その違いを捉えながら、登場人物の行動の様子やその理由を豊かに想像させたい。

また、『おはなしどうぶつえん』をつくって、本をしょうかいしよう」は、図書紹介を

目的とした学習である。図書を紹介する際の相手や目的を明確にし、児童が進んで解決を図りたくなるような言語活動を行っていききたい。

第1学年では、学習経験の浅さから、単元全体のゴールや見通しをもつことが難しいことがある。児童にとってイメージしやすく、やってみたいと思わせる言語活動を設定し、確実な資質・能力を身に付けさせたい。

(2) 児童観

登場人物の行動を具体的に想像する力については、既習教材「うみへのながいたび」などを通し、少しずつ学習経験を積みながら、その資質・能力を身に付けてきているところである。挿絵の活用などの手立てを講じ、内容の順序や場面の様子、登場人物の行動やその理由について学習してきた。言語化する際には、「(登場人物)が(何をした)」など、簡単な文で表記させた。

振り返りについては、これまでに様々な教科において、身に付いた資質・能力を自覚できるように言語化に取り組んできた。うまく言語化できない児童に対しては、「どんなことができるようになったのかな」「どうしてそう思ったのかな」などと問い掛け、児童とともに確認したり、考えたりするようにして児童の思いを引き出すサポートをしてきた。このような学習経験を積み重ね、自らの学習状況を把握する素地を育てていきたい。

また、児童には国語科に関するアンケートを実施して、児童の学習に対する姿勢の把握と単元の指導の参考とした。質問事項は「こくごは すきですか。」「本を よむのは すきですか。」「本が すき(きらい)な りゆうは なんですか。」とした。国語科の学習及び読書が好きと答えた児童は全員の11名であった。また、読書が好きと答えた理由としては、「楽しい」や「面白い」という読書自体を楽しんでいる傾向が見られた。それ以外には、「いろいろなことが分かるから」という、読書のもつよさを自覚している意見もあった。本単元では、多くの児童が読書のよさを実感し、今後の生活に生かしていこうとする意欲をもたせたい。

(3) 指導観

本単元では、「スイミー」「『おはなしどうぶつえん』をつくって、本をしょうかいしよう」を複合的に捉えた教材として扱い、単元で取り上げる言語活動として、相手や目的意識を明確にし、「こうちょう先生をげん気にするために、『ゆう気がわく本』をしょうかいしよう」と設定した。児童にとって身近な存在である校長先生を元気にするために、「スイミー」で内容を捉える力を身に付け、それを活用しながら自分が選んだ本の内容を整理し、紹介する活動を行い、資質・能力の確実な定着を図る。

「スイミー」は、一度は敵に生活を脅かされて孤独となりながらも、自身が住む世界の素晴らしさに触れ、徐々に元気を取り戻し、最後は知恵と勇気を振り絞り、敵を追い払う内容である。登場人物の変容が分かりやすく描かれた文学作品に、児童は夢中になることだろう。粘り強く登場人物の行動を想像し、その世界観を味わおうとすることが期待できる。その素直な思いを、「校長先生を元気にする」という目的へと発展させ、自ら本を選んで読み、主体的に学習することにつなげていきたい。

(4) 学びの基盤

学びの基盤に関わり、本学級では以下の点を大切にしてきた。

① 「支持的風土の醸成」について

- ・どの学習においても、友達の見解や考えに触れ、お互いの考えを認め合ったり、自分の考えの参考にしたりすることを奨励してきた。

- ② 「教室環境の整備」について
 - ・UD型教育の視点から、教室前方には視覚的刺激になるような掲示物は避ける。
 - ・児童がこれまでの学習内容や身に付けた力を自覚するため、既習事項及び資質・能力を教室後方に掲示した。
- ③ 「学習規律の確立」について
 - ・学習規律「よりよい学習をするために」（美瑛町共通）の指導を継続してきた。
 - ・「学習を支えるもの」として、学習の基盤となる、傾聴態度や机上整理などを指導した掲示物を提示している。

3 単元の目標

- (1) 言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気付くことができる。
[知識及び技能] (1)ア
- (2) 読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。 [知識及び技能] (3)エ
- (3) 場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。
[思考力、判断力、表現力等] C(1)イ
- (4) 場面の様子に着目して、登場人物の行動を想像することができる。
[思考力、判断力、表現力等] C(1)エ
- (5) 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。
「学びに向かう力、人間性等」

4 単元で取り上げる言語活動

物語を読み、内容や感想を伝える。

(関連：思考力、判断力、表現力等 C(2)イ)

5 単元の評価規準

単元の評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気付いている。(1)ア ②読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。(3)エ	①「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。(C(1)イ) ②「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を想像している。(C(1)エ)	①進んで、場面の様子に着目して、登場人物の行動を想像し、学習課題に沿って、内容や感想を伝えようとしている。

6 単元の指導計画と評価計画

- (1) 単元の指導計画と評価計画における18次研究との関わり

研究内容(3) 指導計画・評価計画

複合的な単元における、指導に生かす評価、記録に残す評価の位置付け

〈指導計画〉

【指導計画のイメージ図】

① 単元構成

本単元では、「スイミー」と『おはなしどうぶつえん』をつかって、本をしょうかいしよう」という「読むこと」領域の単元で構成されている。

指導計画の特徴として、「スイミー」で身に付けた資質・能力を、言語活動として設定した「こうちょう先生をげん気にするために、『ゆう気がわく本』をしょうかいしよう」を扱う教材『おはなしどうぶつえん』をつかって、本をしょうかいしよう」で活用することが挙げられる。

「スイミー」の学習の目的を、「校長先生に自分が選んだ『勇気が湧く本』について、自分の思いを伝えるためには、物語の内容を理解する必要がある」と設定し、児童に学習の必要感をもたせる。「スイミー」の読みを進めながら、「物語の内容が分かった」「物語の内容を把握する方法が理解できたので、その方法を駆使しながら、校長先生に紹介する本について伝えたい」という思いをもたせていきたい。

また、単元の導入時に「校長先生を元気にする」といった目的に合った本を選ぶことが難しい児童もいることが予想される。そのため、事前に学校図書館にお願いをし、1年生でも容易に読むことができる、「ゆう気がわく本」を多数、選んでいただいた。そこから選ばせることで、安心して学習に取り組み、内容や感想を伝える言語活動に集中させていく手立ても準備しておく。

② 見通し、対話、振り返りを位置付けた指導計画

主体的・対話的で深い学びを実現するために、単元の指導計画を学習内容に関連付けて、「開始時点」「途中段階」「終了時」と、時間や学習活動のまとまりごとに設定した。

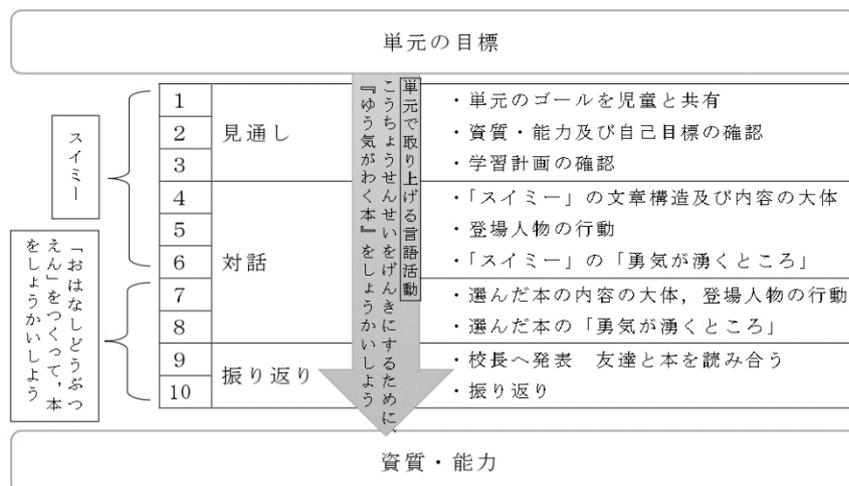
学習の開始時点では、学習を価値付け、見通しをもたせる場面とした。単元で身に付ける資質・能力を教師と児童が共有したり、学習課題を確認して目標達成までの見通しをもったりする。本単元では、単元で取り上げる言語活動の相手である校長からのビデオレターを見せて、学習に対する意欲を高めたい。

学習の途中段階では、自己の学習状況を把握したり、学習方法や内容を確認したりする。対話を通し、自己の学習が深まっていくことを実感させたい。本単元では、Google Jamboardを活用し、教材の「ゆう気がわくところ」を考え、友達と対話をしながら確認させていく。

学習の終了時は、単元の学習を整理し、開始時点で設定した目標や学習課題を達成しているか振り返り、単元で身に付けた資質・能力を確認したり、他の学習や生活に生かそうとする汎用性を感じさせたりする。また、単元の終末には実際に校長に紹介する場面を設定し、学習の達成感を味わわせる。単元を通して振り返りシートを活用し、学習過程での学習状況を言語化させ、自らの学習を調整する方法を経験させ、学習を調整する力を醸成する。

③ モデルの活用

1年生という学習経験の浅さを考慮し、指導計画にはモデルを積極的に設定し、児童が考えを構築するときの指針としたい。グッドモデルは児童に学習の方向付けや見通しをもたせ、安心感を与える。今回はバッドモデルを併用し、よりグッドモデルの内容を強調して理解させたい。



〈評価計画〉

指導に生かす評価は、「指導改善・授業改善」を目的とし、毎時間行うものとしておさえ、児童の学習状況を教師が把握しながら進めていく。記録に残す評価は、単元の目標として設定した資質・能力ごとに、主に単元の終末や、時間や学習活動のまとまりを節目に行うものとする。

【評価計画のイメージ図】

	知・技		思・判・表		主
	知①	知②	思①	思②	
スイミー	1・2・3	指導			指導
「おはなしどうぶつえん」をつくって、本をしょうかいしよう	4・5	指導	指導		
	6			指導	指導
	7	記録		記録	
	8			記録	記録
	9・10		記録		

そこで、二つの教材を

組み合わせ、「スイミー」と『おはなしどうぶつえん』をつくって、本をしょうかいしようの資質・能力を、段階的かつ複合的に身に付けさせていきたいと考えた。

「知識・技能」の評価については、①②ともに『おはなしどうぶつえん』をつくって、本をしょうかいしようの学習で見取り、記録に残す評価を行う。①については、「スイミー」で指導に生かす評価を行いながら児童把握や支援を行い、7時間目において自分が選んだ本の登場人物の行動や様子を考え、友達に伝える際に、「誰が」「何をした」という視点をもっているかで評価する。②については、単元の終末において、友達が選んだ本を読み合い、感想を交流する場面で評価を行う。

「思考・判断・表現」の評価については、主に「スイミー」の学習で指導に生かす評価を行い、その後の自分が選んだ本の内容について考える学習活動において記録に残す評価を行う。これは、「校長先生に『勇気が湧く本』を紹介したい」という思いをもち、自分が選んだ本の勇気が湧く場面を考えたり、友達と話し合ったりすることで、場面の様子や登場人物の行動を想像することが期待できるからである。

「主体的に学習に取り組む態度」については、1年生という発達段階と、国語科の教科特性を考慮して見取り、評価をする必要がある。主体的に学習に取り組む態度における「粘り強い取組を行おうとしている側面」と「自らの学習を調整しようとする側面」のうち、1年生という学習経験の浅さ、メタ認知の未習熟から、「自らの学習を調整しようとする側面」の評価は、実際には難しい場合が多い。そのため、本単元では、特に粘り強さを発揮してほしい場面として指導と評価を行っていく。しかし、中・高学年で自らの学習を調整することが実現できるよう、その基礎を少しずつ築いていく必要がある。『おはなしどうぶつえん』をつくって、本をしょうかいしようでは、単元で取り上げる言語活動を行うことから、学習の自己調整に向けたアプローチや学習支援を行っていく。また、振り返りシートの記述と実際の学習の様子を照らし合わせながら、評価の材料としていく。

(2) 単元の指導計画と評価計画

問題文
 学習課題
 まとめ
 ◎目標
 記録 記録に残す評価

時	主な学習活動	評価方法及び指導上の留意点		
		知・技	思・判・表	主
1	◎勇気が湧く本を選び、紹介する活動について			

<p>2</p> <p>3</p>	<p>て、学習課題を設定し、見通しをもつことができる。</p> <p>○教師による読み聞かせを聞き、本はいろいろな気持ちにしてくれることを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しい ・わくわくする ・どきどき ・はらはら ・元気になる など <p>○校長先生からのビデオレターを確認し、単元のゴールを教師と共有する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>校長先生を元気にするために、『勇気が湧く本』を紹介しよう。</p> </div> <p>○紹介する方法を、グッドモデルとバッドモデルを比較して確認する。</p> <p>○振り返りシートを活用して、単元を通して身に付ける資質・能力を確認し、個人目標を設定する。</p> <p>○学習計画を確認する。</p> <p>○校長先生に紹介したい本を選び、通読する。</p> <p>○「スイミー」の範読を聞く。</p> <p>○学習を振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>自分が選んだ本の「勇気が湧くところ」を伝えて、校長先生に元気になってほしいな。そのために、「スイミー」の「勇気が湧くところ」を探していこう。</p> </div> <p style="text-align: right;">主体的な学び</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・振り返りシート <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>指導の手立て</p> <p>本が与える影響に気付けない場合は、これまでの読書体験を想起させたり、教師の読書体験を参考にさせたりする。</p> </div>		<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・振り返りシート <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>指導の手立て</p> <p>「勇気が湧く本」を紹介するという学習の見通しをもてるように、簡単な物語を紹介し、イメージをもたせる。</p> </div>
<p>4</p> <p>5</p> <p>6</p> <p>7</p> <p>8</p> <p>本時</p>	<p>◎場面の様子に着目し、登場人物の行動の様子や理由を想像することができる。</p> <p>○課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>勇気が湧く本を紹介するためにも、「スイミー」を読んで、「勇気が湧くところ」はどこか話し合おう。</p> </div> <p>○挿絵を基に、主な出来事など、文章の構造を大まかに捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①きょうだいたちとの暮らし ②おそろしいまぐろ ③元気を取り戻し、大きな魚のアイデアを思い付く ④まぐろを追い出す <p>○挿絵や叙述を基に、物語の内容の大体を捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場面の様子「何があった」 ・「誰が」「何をした」 ・会話文「どのようなことを言った」 <p>○スイミーの行動を想像する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の構造を基に、特に序盤と終盤の違い 	<p>記録①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・Google Jam boardの記述 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>指導の手立て</p> <p>登場人物の行動の様子に着目させ、叙述には「誰が」「何をした」などが表現されていることに気付かせる。</p> </div>	<p>記録①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・Google Jam boardの記述 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>指導の手立て</p> <p>物語の内容の大体を掴むため、挿絵や様子を表す叙述に注目させる。</p> </div> <p>記録②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・Google Jam boardの記述 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>指導の手立て</p> <p>スイミーの行動を想像す</p> </div>	<p>記録①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・Google Jam boardの記述 ・振り返りシート <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>指導の手立て</p> <p>スイミーが元気を取り戻した理由を考える際、友達の意見を確認するよう促したり、スイミーの行動を表す叙述に着目させたりする。</p> </div>

	<p>に着目させる。</p> <p>○「スイミー」を読み、自分が「勇気が湧く」と感じた場面について、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Google Jamboard を使用し、付箋を貼って叙述の共有を図る。 ・自分が選んだ場面について、登場人物の行動を確認したり、選んだ理由や気持ちを整理したりする。 ・自分の「勇気が湧く場面」を決める。 <p>○「勇気が湧く場面」を交流する。</p> <p>○友達の発表を聞き、自分の考えを検討したり、振り返ったりする。</p> <p>○「スイミー」で学習したことを生かし、自分が選んだ本の「勇気が湧く場面」を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の行動をおさえる。 ・選んだ理由や自分の気持ちを明確にする。 <p>○自分が選んだ本の「勇気が湧く場面」を紹介するために、Google Jamboard を準備する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「スイミー」で学習したように、登場人物の行動や場面の様子に注目したら、「勇気が湧くところ」を見付けられたよ。早く校長先生に伝えたいな。</p> </div> <p style="text-align: right;">対話的な学び</p>		<p>るため、挿絵を基に場面の様子に着目させたり、会話文から行動の理由を想像させたりする。</p>	
<p>9 10</p>	<p>◎発表をしたり、友達の発表を聞いたりして、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書に親しみながら自分の選んだ本の内容や感想を伝え合うことができる。 <p>○これまでの学習を振り返り、課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>校長先生を元気にするために、自分が選んだ本の「勇気が湧くところ」を伝えよう。</p> </div> <p>○校長先生に「勇気が湧く場面」を伝える練習をして、内容の確認をする。</p> <p>○校長先生に自分が選んだ本を紹介する。</p> <p>○校長先生の感想を聞き、学びの成果を実感する。</p> <p>○友達が選んだ本を読み合い、内容や「勇気が湧く場面」の交流をする。</p> <p>○校長先生を元気にするために本を読んで内容や気持ちを伝えるという学習を通して学んだことを振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートを活用する。 	<p>記録②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・振り返りシート <p>指導の手立て</p> <p>これまでに読んだことのない本をすすんで読むよう促す。</p>		

校長先生を元気にすることができたよ。嬉しいな。本は読んだ人をいろいろな気持ちにすることが分かったから、今度は自分もたくさんの本を読んでみたいな。

主体的な学び

7 本時の学習（10時間扱い 6/10）

(1) 目標

- ・挿絵や叙述を基に場面の様子に着目し、スイミーの行動を想像して、自分が「読むと勇気が湧く」と感じた場面について考えることができる。
〔思考力、判断力、表現力等〕 C(1)エ（指導に生かす評価）
- ・自分が「読むと勇気が湧く」と感じた場面について、叙述に着目したり、友達と交流したりして、粘り強く試行錯誤して考えることができる。
「学びに向かう力、人間性等」（指導に生かす評価）

(2) 本時における18次研究との関わり

研究内容(4) 観点ごとの総括

特に、粘り強さを発揮してほしい場面としての、主体的に学習に取り組む態度の評価

本時では、思考力、判断力、表現力等を身に付けることに向け、粘り強い取組を行おうとしたり、自らの学習を調整しようとしたりする姿から、主体的に学習に取り組む態度について指導に生かす評価を行う。

「自らの学習を調整しようとする側面」については、低学年は適切に見取り、評価することは難しいことから、その基礎を少しずつ築いていく指導を行いたい。

登場人物の行動を想像する際、着目した場面の挿絵や様子などの叙述を基に、登場人物が何をしたのか、行動の理由は何かを考える。本時は、スイミーが物語の序盤と終盤で大きく様子が異なることに着目し、その変化を捉えさせる。そして、場面の様子やスイミーの行動を表す叙述を基に、「勇気が湧く場面」を考えさせていく。児童が粘り強く試行錯誤しながら、叙述を基に考えたり、Google Jamboardを活用して友達と交流したりする姿から評価を行う。

振り返りシートについては、学習の見通しをもたせたり、自己の学習状況を確認したりすることにおいて活用していく。

《努力を要する状況になりそうな児童への指導の手立て》

＜場面の様子やスイミーの行動などを想像する場面＞

【手立て1】挿絵などを活用し、物語の序盤と終盤でスイミーの行動が異なることを確認させる。

＜勇気が湧く場面を考える場面＞

【手立て2】主な出来事など、大まかな文章の構造や、スイミーの序盤と終盤の行動の違いを確認させる。

＜友達と交流する場面＞

【手立て3】友達との交流を通し、場面を選んだ理由を考えさせる。

(3) 展開

一単位時間の問題文

一単位時間の学習課題

まとめ

白抜き 研究との関わり

教師の活動	児童の思考と手立て
<p>1 前時までの学習内容を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習活動と、その目的を確認する。 内容の大体を捉えたことを確認する。 本時は勇気が湧く場面を見付ける学習を行うことをおさえる。 <p>2 本時の課題を把握する。</p> <ul style="list-style-type: none"> スイミーの行動の叙述を基に、「スイミー」の「勇気が湧く場面」を見付けることをおさえる。 	<ul style="list-style-type: none"> Google Jamboard から、既習事項を確認する。「校長先生を元気にするために、早く『勇気が湧く本』を紹介したいな。」 「前は、スイミーが何をしたか、何を言ったかに注目したね。」 物語の主な出来事を確認し、文章の大まかな構造をおさえる。「『スイミー』は、大きく4つに分けられたね。どこに注目したらいいのだろうね。」
<p>スイミーの物語から、「勇気が湧くところ」を見付けよう。</p>	
<p>3 物語の序盤と終盤を比較させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> スイミーが序盤と終盤では行動や様子が異なることに気付かせる。「スイミーは、物語の初めと終わりでは、どう変わったでしょうか。」 挿絵を基に、スイミーの行動や様子について、曲線で視覚的に気付かせる。 <p>4 「読むと勇気が湧く」と感じた場面を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> 叙述を基に、「勇気が湧くところ」を考える。「物語を読んで、勇気が湧くところを考えて、付箋を貼りましょう。」 登場人物の行動を表す叙述に着目させる。「登場人物がどんな行動をしたところが、『勇気が湧く』と感じますか。」 	<ul style="list-style-type: none"> 物語の序盤は落ち込んでいるが、終盤は元気を取り戻していることを確認する。「初めの方は『こわかった、さびしかった、とてもかなしかった。』と書いてあるが、終わりの方は「出てこいよ。みんなであそぼう。」と言っているよ。」 【手立て1】 挿絵などを活用し、物語の序盤と終盤でスイミーの行動が異なることを確認させる。「初めは元気がないけど、終わりでは元気を取り戻して、まぐろを追い出したよ。」 ●指導に生かす評価【思】【主】 全体を見ながら、努力を要する児童を把握する。 主体的に学習に取り組む態度 Google Jamboard の全文表示に付箋を貼る。「わたしは、スイミーが『ぼくが、目になろう。』といったところが、勇気が湧くところだと思いました。」 【手立て2】 主な出来事など、大まかな文章の構造や、スイミーの序盤と終盤の行動の違いを確認させる。 ●指導に生かす評価【思】【主】 努力を要する児童を中心に、叙述を基に、登場人物の行動を想像して、勇気が湧く場面を考えているかを見取る。

5 全体で交流する。

- Google Jamboard を活用し、「勇気が湧く場面」を確認する。
「どうしてその場面が「勇気が湧くところ」だと思ったのですか。」
「友達の考えを聞いて、どう思いましたか。」
- 勇気が湧くと感じた理由を明確にして、Google Jamboard に記述させる。
「どうして『勇気が湧くところ』と思ったのか、理由を付箋に書きましょう。」

主体的に学習に取り組む態度

【手立て3】

- 友達との交流を通し、場面を選んだ理由を考えさせる。
「友達の考えを聞いて、理由をもつことができたよ。」

●指導に生かす評価【思】【主】

努力を要する児童を中心に、友達との交流を通し、勇気が湧く場面について粘り強く考えているかを見取る。

主体的に学習に取り組む態度の具体的な見取り方

- <何を> • 叙述に着目したり、友達と交流したりして、「勇気が湧く場面」をどこにするか粘り強く考えることができているか。
- <どこで> • 自分なりに考えをもつ場面
• 友達の考えを交流する場面
- <何で> • Google Jamboard の記述、観察
- <手立ては> 1 挿絵などを活用し、物語の序盤と終盤でスイミーの行動が異なることを確認させる。
2 主な出来事など、大まかな文章の構造や、スイミーの序盤と終盤の行動の違いを確認させる。
3 友達との交流を通し、場面を選んだ理由を考えさせる。

6 振り返りを行い、自己の学びを確認させる。

友達と交流もして、「スイミー」の「勇気が湧くところ」を見付けることができたよ。今度は、自分の選んだ本の「勇気が湧くところ」を見付けて、校長先生に紹介したいな。

7 次時の見通しをもたせる。

- 次時は、自分が選んだ本の勇気が湧く場面を確認する学習を行うこととおさえる。

(4) 板書

あさの つめたい 水の中を、
ひるの かがやく ひかりの中を、
みんなは およぎ、大きな さかなを おい出した。

スイミーは、はじめと おわりで、どう かわった でしょう。

スイミーは およいだ。くらい うみの そこを。こわかった、さびしかった、とても かなしかった。